

令和2年2月

## 教育すべきは社員ではなく経営者

中小企業の経営者が会社経営において一番重視すべきことは何でしょうか、売上を拡大して利益を出し続けることでしょうか、社員教育でしょうか、社員と家族を大事にする経営をするでしょうか。私はこれらは全て違ふと思っています。経営者の仕事は今後10年先、20年先も生き残れる会社にすること、会社を倒産させないことです。今成長していて利益が出ていても成長が止まり赤字に転るかわかりません。むしろ急成長している会社ほど倒産しやすいのです。社員教育しても未来は保証されません。社員教育をいくらしても倒産します。倒産するかどうかは社員ではなく社長で決まるからです。何故会社は潰れてはいけないのか。それは、社員と家族を守るためです。そのために経営者は時代の変化に適応するために商品・サービス、製品ビジネスモデルを変化させなければなりませんのです。会社が永続するために社長が変わるべきは、社員教育ではなく自分自身を教育することです。

1月10日に古田土会計グループの経営計画発表会が開催されました。社員とお客様約950名に参加していただきました。特にお客様はわざわざお金と時間をかけてきてくれ感謝です。基調講演は(株)武蔵境自動車教習所代表取締役会長高橋勇様です。会長の話にはほとんどの人が感動したと思います。最高でした。会長の話では、武蔵境自動車教習所の年間入所数は東京で3つと第2位、日本で第3位をとりです。しかし、2035年には自動車教習所は廃業をする宣言を社員にしたそうです。普通の会社の社員は「将来に希望がもてなくなつて辞めていきますが、社員のモチベーションは高く生き生きと働いてくれています。経営理念は「共尊共栄」、使命は社員を守る、何のための事業か、それは社員満足、お客様満足、地域社会に貢献するため。具体的にはサマーフェスティバル(花火大会)フリーマーケット、餅つき大会等すごい数です。売上金は全て東京車人基金を通じて寄付しているそうです。会長の話では社長(娘さん)は現在サレフランシスコにある大学で子育てしながら勉強とコンサル会社を経営しているそうです。現地見学に社長様が行かれたことは自動車はやがて自動運転になり、運転免許証は必要なくなるのでは無いがということでした。社員は約200人いますが、2035年までに子会社10社を設立し社長を任せる。現在は、保育園、介護タクシー、企業研修、車の取替保険、レジャー、人材育成等の支援事業で5社が設立されています。この「新事業」を始めたのは、全て社員を守るためだと強く言っておられました。社長の仕事は、自社の10年先、20年先を予想して自社の商品・サービス・ビジネスモデルを変えていくことです。いくら社員教育しても、社長が事業の未来像を社員に示さなければ社員は将来が不安になり辞めていきます。武蔵境さんは、会長、社長が事業の未来像を示しているから、社員が生き生きと働き社員が、新しいサービスが提案され続けている。

古田土会計Gの発表は、飯島社長が90分間話した。私は一切話をしませんでしたが私よりよわくやすく今後何を重点にすべきか、また内勤で働いてくれている人のことも考え、彼女達などのように成長させていくかという方針と具体策が明文化されていました。社長存じではの経営計画書にあり、この経営計画書を参考に、経営計画書を作ると「人を大切にする経営」ができると確信しました。本当に後継者達に恵まれたと吉田専務と運がよかったです。感謝(涙)と言いました。高橋会長の話にあつたように会社の未来を決めるのは、商品・サービスです。飯島社長が考えた新商品で感動したのは、「古田土式後継者養成塾」です。一般の後継者の塾は、P10のコンサルタントが講師です。コンサルのお客様は社長(親)後継者ではありません。そのため社長の都合のよいように指導します。土がどの目線で指導を受けるので納得がいかないことが多い。古田土会計の塾長は後継者である飯島社長です。後継者である飯島が後継者の立場であるべき姿を指導します。他のコンサルタントではできない学びの場です。こういうことを考えつくのがすごいと思っています。十分に差別化された新商品です。自画自賛です。申し訳ありません。

今年の経営計画発表会は最高でした。相談日 3/28(土) 4/25(土)